

2019 第 9 回横浜シーサイドトライアスロン大会

オペレーションマニュアル
【バイク】

【審判用】
第 1.0 版

作成者	篠原 永年
作成日	2019年9月11日
最終更新日	2019年9月11日

目次

表紙	
目次	2
体制	3
1. スタッフ配置図	5
業務詳細・留意事項	5
1. 共通事項	5
2. 業務別詳細および留意点	6

■スケジュール

9月29日(日)

6:30	八景島大橋ゲート開門
6:50	T0 受付(メイン会場 KnTU テント前)
7:00	T0 全体ミーティング (各ポジションミーティング有り)
7:20-9:30	選手受付開始・トランジションオープン
8:50	競技説明会・準備体操
9:30	交通規制開始。公道部分のコース設営
9:40	競技開始
13:30	バイク閉門 (バスロータリー)
13:45-	バイクパート競技終了
14:00	交通規制解除
14:30	全競技終了

体制

1. TO 一覧

チーフ TO / サブチーフ TO 一覧

人数	名前	ポジション	役割	無線	連絡
1	篠原 永年	チーフ	バイク統括 (バイク移動)	○	070-3858-1366
2	今橋 尚也	サブチーフ	(バイク移動) 主に島外エリア	○	
3	浅海 聡	モータバイク	H4 折り返し～C9 間	○	
4	野間 秀樹	モータバイク	H4 折り返し～C9 間	○	
5	小金澤 光司	H4	バイク周回地点管理	○	
6	伊東 亨	C1	交差点管理		
7	小原 博史	H2	選手、観客誘導		
8	川原田 智	H3	選手、観客誘導		
9	紺谷 悟司	C5,C6	交差点管理		
10	榊 幸喜	H4,H5	バイク周回地点、トンネル周辺注意喚起		
11	仙台 椎良	C7,C8	交差点管理		
12	竹内 史	C9	折り返し地点管理	○	
13	玉川 圭介	H2	選手、観客誘導		
14	中村 安夫	C2,C3	交差点管理		
15	本山 亮	H9	選手、観客誘導		
16	柳 志延	H9	選手、観客誘導		
17	山田 和彦	C4	交差点管理		
18	青柳 雅一	H6,H7,H8	交差点管理		

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 TO
H2	20	横断路(ただしランポジションと共有)	小原
H3	10	横断路、急坂安全管理(同上)	川原田
H4,5	10	周回、分岐管理	小金澤
H6,7,8		選手安全管理	担当 TO
H9	10	選手安全管理(同上)	柳

C1	10	横断路	担当 TO
C2,3	12	横断路	担当 TO
C4	15	横断路	担当 TO
C5,6	9	横断路	担当 TO
C7,8	13	横断路	担当 TO
C9	7	折返し	担当 TO

・ボランティア人数はボランティアスタッフ側からの申し出人数になりますので、当日変更し、担当ボランティアの割り当てを変えていきます。『担当・役割』の通りに指示をお願い致します。

会場・コース

1. スタッフ配置図

■TO 配置図です。次ページの全体配置図と共にご確認ください。

コースの細かな確認はHPで各自必ずお願い致します。

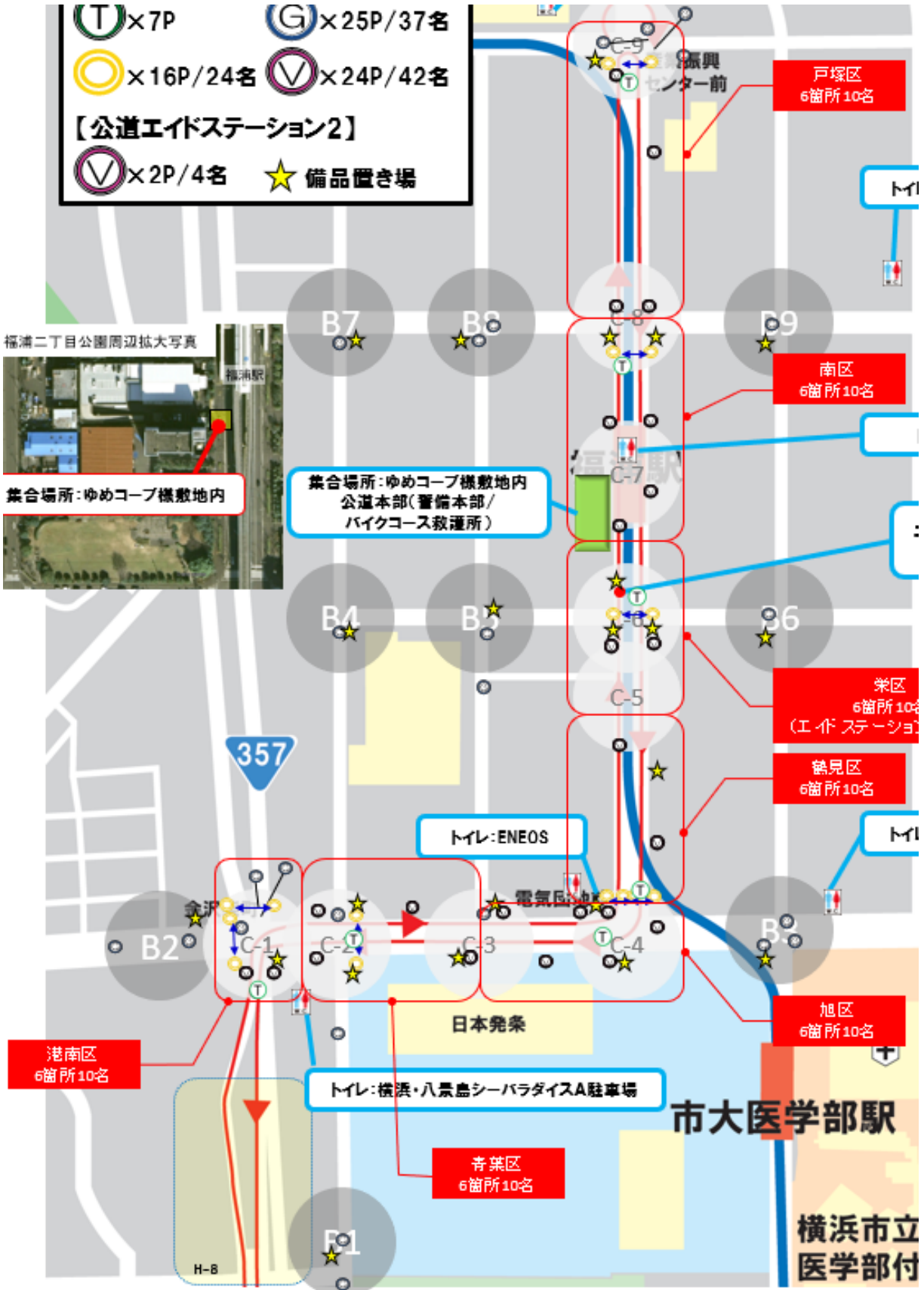
コースHP <https://sea.tri.yokohama/>

■(V) = ボランティア ☆ = 資財置場

■島内エリア



■島外エリア



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- 。朝の集合で必ず自分の配置をボランティアにお知らせください。
- TO はボランティアとの連携を密にし、競技を安全に行うことを念頭に担当業務についていただくようお願い致します。
- 選手や TO の皆さんの体調のすぐれない時、トラブルが発生した時はすぐにチーフ、または近くの TO やボランティアにお声かけください。
- 休憩や昼食は競技の合間に適宜交代で取ってください。
- 島外担当者は、競技終了まで定点で活動することになりますので、水、食料等は各自で確保をお願いします。昼食は競技終了後となりますこと、ご容赦ください。

2. 業務別詳細および留意点

- チーフは競技進行、ルールに関わる業務を HR 榎澤さんに随時連絡します。
- 各ブロック別の TO とボランティアの配置は「スタッフ配置図」の通りに行ってください。
ボランティアの配置図には主要な表示のみですので、TO が適宜判断してください。問題等あればチーフの判断を仰いでください。
- TO は配置につき、競技運営上支障のない程度で巡回を行うことにより、周囲の安全確保に努めてください。
- ・ボランティアへの対応として、担当ブロックの TO であることをお知らせし、競技スケジュールや先導車両が走っている事もお知らせください。
・担当ポジションにより、各担当 TO はボランティアスタッフの変更等行い、安全確保、競技のスムーズな進行に努めてください。
- 定点業務
 - ①各エリアに必要な備品を準備し、各エリアへ持ち込むこと。また競技終了後持ち帰ること
 - ②選手誘導・安全確保(必要に応じて減速やキープレフトの指示)
 - ③一般客誘導・安全確保・大会スケジュール説明コース上に観客等の横断路がある場合には、観客や車両を横断させるかどうかの判断は審判員が行う。横断開始／中断の連携方法を事前に決めておくこと。
 - ④コース設営修正(業者が設営したものを競技観点で修正)
 - ⑤警察官、警備員、整理員、ボランティア等スタッフとの意思疎通を行う。

⑥コース撤収確認

■移動担当

①選手誘導・安全確保

②ドラフティング、ブロッキングの取り締まり

ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方10m。並走の場合もドラフティングとなる。

ドラフティングペナルティはストップ&ゴー

③エリア担当マーシャルへの連絡(最終選手通過、その他伝達事項)

④モーターバイク担当は先導及び最終選手の確認と連絡

3. 競技規則について (バイク)

■本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則および以下のローカルルールが適用されます。

■前あきファスナーのレースウェアの着用は可能ですが、下げた状態のまま競技を続けることはできません。発見した場合は **STOP** させファスナーを上げるよう指示してください。

■降車ラインを過ぎてもヘルメットのストラップを外すことはできませんので、外した選手は、**STOP** させ再度付け直してから再スタートとなります。

■ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行う事はできません。

その他

【救護を要する選手の対応】 競技運営マニュアルに準じます。

【競技距離】

	スプリント、パラトライアスロン(750m)	一般、デビュー、リレー(500m)	アクアスロン一般、ペア(500m)	アクアスロンペアチャレンジ
スイム	250mコースを3周回(陸も含む) ※パラは陸への上陸は無し	250mコースを2周回(陸も含む)	250mコースを2周回	250mコースを1周回
バイク	20km(5kmコース4周回)	20km(5kmコース4周回)		
ラン	5km(2.5kmコースを2周回)	5km(2.5kmコースを2周回)	5km(2.5kmコースを2周回)	A 1.1kmコース1周回
ラン				B1.0kmコースを2周回

■リタイア時の対応

① 審判員は、リタイアの意思、レースナンバーと氏名を確認し、選手がはずしたアンクルバンドを回収する。

② 審判員は無線あるいは電話でチーフに報告する。

③ アンクルバンドはレース終了後、本部に届ける。

④ チーフは「リタイア選手リスト」を作成し、レース終了後審判長に提出する。

■緊急対応

- ・接触事故や落車、メカトラ(パンクなど)があった場合はすぐに現場へ急行する。
 - ・最初に後続車に2次災害が発生しないように誘導し、その間、ケガの有無、重軽度を確認。
 - ・事故発生時、当事者の保護と後続選手を含めた競技の安全確保を最優先に行い、その後直ちに事故発生地点、時刻、選手の状態とレースナンバーを確認して大会本部に無線連絡する。
- ただし選手の意識がない場合、骨折あるいは多量の出血が認められる場合は直接119番に連絡し救急車を呼ぶこと。その後、無線や携帯にてチーフへ連絡し、指示を仰ぐこと。

■雨天時対応

落車多発が予想されるエリアは、メカトラ、ホイッスル、「減速」注意コールとコース幅減少を行い、スリップ落車を防止し安全走行につなげる。